

令和2年度 岡山県文化振興審議会

日時：令和3年1月22日（金）

14時～15時30分

場所：ルネスホール ワークルーム

1 開 会

2 議 事

- ・ 令和2年度県実施主要事業について
- ・ おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について
- ・ 令和3年度重点事業について

3 その他

- ・ 次期指定管理者の選定結果（天神山文化プラザ）
- ・ 令和2年度文化観光推進法に基づく拠点計画の認定
大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

任期：2020. 2. 1～2022. 1. 31

氏 名	役 職 名
赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科教授
臼井 洋輔	備前市立備前焼ミュージアム館長
大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長
加納 容子	勝山文化往来館ひしお副館長
神崎 宣武	民俗学者
柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部教授
高原 洋一	版画・造形
竹内 京子	くらしき作陽大学教授音楽学部長
松田 正己	山陽新聞社代表取締役社長

敬称略 50音順

岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

令和2年度 岡山県文化振興審議会

配付資料

日時 令和3(2021)年1月22日(金)

14時～15時30分

場所 ルネスホール ワークルーム

1 令和2年度県実施主要事業について

(1) おかやま文化芸術アソシエイツ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

(2) アートプロジェクトおかやま推進事業

①アーティスト滞在・交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

②芸術文化育成・支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

③アートで地域づくり実践講座・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

④オーケストラの鑑賞機会の提供・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

(3) 県立美術館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

(4) 新型コロナウイルス関連対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

2 おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について

おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系及び成果指標の実績・・・・・・・・ 15

3 令和3年度重点事業について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

4 その他

(1) 次期指定管理者の選定結果(天神山文化プラザ)・・・・・・・・・・ 24

(2) 令和2年度文化観光推進法に基づく拠点計画の認定・・・・・・・・・・ 25

大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画

〈参考資料〉

(1) おかやま県民文化祭パンフレット

(2) 岡山フィルハーモニック管弦楽団矢掛・総社特別公演ちらし

(3) 県立美術館ちらし(マイセン動物園展、雪舟と玉堂一ふたりの里帰り)

おかやま文化芸術アソシエイツ事業

事業趣旨	<p>公益社団法人岡山県文化連盟に「おかやま文化芸術アソシエイツ」を設置し、文化団体等の活動を支援するとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムへの参画を促進する。</p>
事業概要	<p>1 専門人材の配置</p> <p>【プログラム・コーディネーター 1名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月ヒロ子氏/ミュージアム・エデュケーショナル・プランナー <p>【サポーティング・パートナー 4名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田広子氏/ (公財) 福武教育文化振興財団 ・石田尚昭氏/ (公財) 岡山文化芸術創造 理事 ・杉本克敬氏/ NeighborKitchen代表 ・牧 尚吾氏/ (株) Logoo Design代表取締役 <p>2 主な事業・実績</p> <p>(1) 文化プログラムへの参画促進等</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの周知、参画の促進及びbeyond2020プログラムの認証受付・相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化プログラム認証件数・・・・・・・・・・164件 (令和2年4月1日～令和2年12月31日現在) <li style="margin-left: 40px;">〔 東京2020応援文化オリンピックアード・・・・ 28件 beyond2020プログラム・・・・・・・・・・ 136件 〕 <p>(2) 文化団体等の活動支援</p> <p>文化団体等の活動に対する助言、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体等からの相談件数・・・・・・・・・・106件 (令和2年4月1日～令和2年12月31日現在) ・文化芸術等に関するワンストップ相談窓口の開設 ※新型コロナウイルスに関する相談にも対応 (令和2年5月8日) <p>(3) 県内の文化芸術資源を発掘、再評価、活用するための調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おかやま県民文化祭「これがOKAYAMA!プログラム」 地域の文化芸術資源を活用し、新たな価値の再発見と楽しみ方を提案する「これがOKAYAMA!プログラム」について、大月ヒロ子氏の企画・監修のもと、テーマを「備前国の学びのデザイン 自発的な学びを育むころみ」と設定し、文化芸術アソシエイツが運営・実施した。 ・「文化芸術交流実験室」(トークセッション&ワークショップ) 文化の各分野はもとより、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流を通じて文化資源を掘り起こすとともに、県内の人材や文化資源の横断的な出会いの場を創出する「文化交流実験室」を開催した。(一部を県民文化祭のプログラムとして実施) ・公式YouTubeチャンネルーおかやまカルチャー・ヴィ 「楽しいが見える！」をコンセプトに、文化連盟会員が作成する様々な動画コンテンツや、県内で文化芸術活動を行う方が自ずから撮影した動画を配信する場として、YouTube公式チャンネルをオープンした。 <p>(4) 文化活動に係る研究会、勉強会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アート・マネジメント研修」 新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの人数が参集することが困難な状況であったことから、好きなところから参加できるオンライン研修を開催した。 これまで、地域文化に関する専門職を養成することを念頭に、文化・芸術団体を中から支える職員の育成と意識向上を目的に行っていたが、今回は誰もが、文化的視点で問題解決につなげられる内容とした。(一部を県民文化祭のプログラムとして実施)

おかやま県民文化祭「これがOKAYAMA!」プログラム

「備前国の学びのデザイン～自発的な学びを育むころみ～」をテーマに、楽しく学べる様々なプログラム、学びを生み出す「場」やそれを支える「人」などをリーフレットにまとめて紹介するとともに、県文祭ならではの特別ワークショップを企画実施した。

備前国の学びのデザイン～自発的な学びを育むころみ～

- ・特別ワークショップ 15プログラム
「庶民教育の殿堂 閑谷学校を学びなおす！」(9/12、20)、
「『めぐるカルタ』づくり」(10/11、10/25、11/8、11/22) など
- ・総プログラム数 55

【備前国の学びのデザイン リーフレット】

A5サイズ 15,000部、A4サイズ 200部
24ページ、フルカラー



文化芸術交流実験室

(講師敬称略)

平成29年～令和元年の3か年間、26回の実験室を開催し、県内各地で様々な分野を横断する交流を通じて、新たな文化資源を発掘してきた。

令和2年度は、一部のプログラムをおかやま県民文化祭「これがOKAYAMA!プログラム」として実施し、県民総参加の文化の祭典に新たな風を吹き込み、新型コロナウイルス感染症拡大の中にあって、生き活きと心豊かに暮らすヒントを提供した。



実験室27

10/10「詩であそぼう ことばを味わおう」

講師：渡邊めぐみ(詩のソムリエ)

スミカオリ(ヨノナカ実習室主宰)

北川久美子(県文化連盟主宰文化人材バンク登録講師)

場所：瀬戸内市民図書館もみわ広場(瀬戸内市)

参加者：28名



実験室28

11/1「建築探偵団 其の四『内側から見る岡山』」

講師：内海慶一(都市鑑賞者、ライター)

石田尚昭(岡山市都市整備局まちづくりアドバイザー)

場所：岡山市内各所(岡ビル百貨店、岡山県農業会館、上之町ビル他)

参加者：39名

【1月下旬公開予定】



実験室29

YouTube配信①能舞台の絵の制作

「訪問実験室！文化芸術が生まれてくる現場」

講師：森山知己(倉敷芸術科学大学教授)

素材：tenjin9の能舞台の絵(鏡板)の制作過程

【2月公開予定】

実験室30

YouTube配信②飾ると仕舞うと運ぶ(仮称)

「訪問実験室！文化芸術が生まれてくる現場」

講師：福富幸(岡山県立美術館学芸課長)

素材：作品や道具類をコンディション良く楽しむために

公式YouTubeチャンネル—おかやまカルチャー・ヴィ



6月5日に第1弾の動画を公開して以降、現在までに3本の動画を公開し、県内の様々な文化芸術活動の様子を伝えている。配信は不定期だが、文化芸術交流実験室も一部配信で実施するなど、おかやまの文化芸術の“楽しい”を紹介するとともに、デジタルアーカイブの役割も担う。



みんなの文化芸術活動応援シリーズ／朗読劇 セロ弾き...

221 回視聴・1か月前



概要欄の小ネタで動画がもっと楽しく／めざせ!チャ...

1647 回視聴・1か月前



概要欄の小ネタで動画がもっと楽しく／童謡「待ちぼ...

464 回視聴・6か月前

アート・マネジメント研修

(講師敬称略)

9/17 Zoomによる研修①「デザインとは何か？」

講師：村田智明

((株)ハーズ実験デザイン研究所/METAPHYS代表取締役、神戸芸術工科大学客員教授 等)

内容：行為のデザイン思考とは、これまで日本で広く使われてきたデザイン＝意匠ではとらえられない広義の意味を含んおり、研修の中で、様々な分野で求められている問題解決を目指すデザイン思考を考えた。

受講者：69人

【今後の開催予定】

2月予定 Zoomによる研修②「著作権の基礎 ～YouTubeとクリエイティブ・コモンズ～」

講師：水野 祐 (弁護士、Arts&Low理事、Creative Commons Japan理事)

内容：YouTubeで動画を配信をするにあたって、理解しておきたい著作権の基礎知識やインターネット時代のための新しい著作権ルールであるクリエイティブ・コモンズライセンスについて学ぶ。

アーティスト滞在・交流事業の開催状況

事業趣旨	<p>地域住民や地元アーティスト、NPO、市町村等が主体となり、地域資源を活用したアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）を実施することで、地域の魅力を掘り起し文化による地域づくりを促進する。</p>
事業概要	<p>2つの自然展 実施団体：EKG合同会社 鑑賞者：388名 参加アーティスト：3名（有原友一、大城夏紀、西山功一） 衆楽園などの津山の自然をテーマに作家が滞在制作を行い、津山市城東地区にあるPORT ART&DESIGN TSUYAMAを主会場、津山市城西地区にあるNishiIma25をサテライト会場とし、作品の展示を行うほか、包装紙のデザインを作るワークショップなどを実施した。 また、招へい作家の居住する東京都両国において、活動の報告会を行い、作品を通じて、東京と岡山との交流事業を行った。 会期：令和2年8月8日～23日（東京での報告会：11月15日） 会場：PORT ART&DESIGN TSUYAMA、NishiIma25、アートトレースギャラリー</p> <p>湯原温泉はんざきアートプロジェクト 実施団体：（一社）湯原観光協会 参加アーティスト：1名（松岡徹） 湯原温泉地区に生息する「はんざき（オオサンショウウオ）」をモチーフにした作品の滞在制作などを湯原温泉街で実施。11月には、松岡氏の監修の元、「はんざきダルマ」を地元の焼き物で量産し、絵付け体験を行えるようになった。 3月には、松岡氏が滞在制作を行うとともに、名古屋芸術大学の学生の作品を、湯原温泉街の協力店舗に展示する予定となっている。 会期：令和2年11月（作品の展示、ワークショップ）※作品は継続展示 令和3年3月～ 制作作品の展示 ※一部の作品は継続展示予定 会場：湯原温泉街</p>

2つの自然展



展示風景



トークイベント



湯原温泉はんざきアートプロジェクト



はんざきダルマ絵付け体験



展示風景



芸術文化育成・支援事業の開催状況

事業趣旨	<p>次世代を担う芸術家を育成するとともに、文化芸術による地域の活性化を図るため、岡山県にゆかりのある美術作家（「I氏賞」受賞作家等）及び新進の芸術家に対して、県内の美術文化施設での発表の場を提供するなど、創作活動を支援する。</p>
事業概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">高本敦基展～閉じる箱は永続性の夢を見る～</p> <p>鑑賞者：545名(12月末時点) 実施団体：NPO法人勝山・町並み委員会</p> <p>岡山芸術文化賞受賞者である芸術家 高本敦基の個展を真庭市で開催。県北の作家で結成したアートグループm oが小学生とのワークショップで作成したダンボールタウンの展示も併せて行った。</p> <p>会場：勝山文化往来館ひしお</p> <p>会期：令和2年12月6日(日)～22日(火)</p> <p>付帯事業：令和2年11月29日(日)アートグループm oによるワークショップ 令和2年12月6日(日)高本敦基によるアーティストトーク 令和3年1月9日(土)作ってみよう！洗濯バサミワークショップ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">北川太郎展「空間ポエム」李侖京展「小舟によせる唄」</p> <p>鑑賞者：378名(12月末時点) 実施団体：公益財団法人成羽町美術振興財団</p> <p>「I氏賞」受賞者である彫刻家 北川太郎と芸術家 李侖京の2人による展示を行うとともに、若手ダンサー森真保による作品とコラボした舞踏パフォーマンスを実施した。</p> <p>会場：高梁市成羽美術館 1階多目的展示室ほか</p> <p>会期：令和2年12月12日(土)～令和3年2月7日(日)</p> <p>付帯事業：令和2年12月12日(土)北川太郎と李侖京によるギャラリートーク 令和2年12月19日(土)森真保による舞踏パフォーマンス</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">甲田千晴展</p> <p>実施団体：EKG合同会社</p> <p>「I氏賞」受賞者でドイツ在住の芸術家 甲田千晴による参加型の展覧会を実施予定。VOCA賞受賞者である花房紗也加や音楽家の岩本象一を加え、ワークショップやイベントなどを開催する。</p> <p>会場：PORT ART&DESIGN TSUYAMA</p> <p>会期：令和3年3月6日(土)～22日(月)</p> <p>付帯事業：参加芸術家によるアーティストトーク及びワークショップ 岩本象一によるライブ・パフォーマンス</p> </div>

高本敦基展～閉じる箱は永続性の夢を見る～



展示風景（高本敦基作品）

ダンボールタウン

北川太郎「空間ポエム」李侖京「小舟によせる唄」






制作風景（北川太郎）

制作風景（李侖京）

展示風景（北川太郎）

展示風景（李侖京）

オーケストラの鑑賞機会の提供

事業趣旨	<p>日頃本格的なオーケストラの演奏を聴く機会が少ない地域で鑑賞する機会の提供と、コロナによる閉塞感を打破し、県民に音楽を通して明るい希望をもたらすことを目的に、県下唯一のプロオーケストラ「岡山フィルハーモニック管弦楽団」による特別公演を開催する。</p>
事業概要	<p>【令和元年度実績】</p> <p>○津山特別公演</p> <p>日時：令和2年2月2日（日）14時開演 場所：ベルフォーレ津山（津山市新魚町 アルネ・津山） 出演：指揮：ハンスイェルク・シェレンベルガー（岡フィル首席指揮者） ヴァイオリン：岸本萌乃加（岡山県出身） 曲目：メンデルスゾーン／「真夏の夜の夢」序曲 メンデルスゾーン／ヴァイオリン協奏曲 ドヴォルザーク／交響曲第9番「新世界より」 入場料：一般2,000円、ユース（19歳以下）1,000円 入場者数：600人（満席）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>【令和2年度計画】</p> <p>○総社特別公演</p> <p>日時：令和3年3月13日（土）14時開演 場所：総社市民会館（総社市中央） 出演：指揮／ハンスイェルク・シェレンベルガー（岡フィル首席指揮者） ハープ／マルギットニアナ・シュース 曲目：ウェーバー／歌劇「魔弾の射手」序曲 フランソワ＝アドリアン・ボイエルデュ／ハープ協奏曲 ベートーヴェン／交響曲第5番「運命」 入場料：一般2,000円、ユース（19歳以下）1,000円 座席数：460人</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

県立美術館事業

コロナ禍で中止や延期を余儀無くされることもあったが、県民の幅広い文化活動の発展に寄与するべく、国内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会をはじめ、美術館講座や教育普及事業などを実施・開催し、年間を通じて、県立美術館の機能を最大限に活用した事業を展開している。

1 展覧会事業

令和2年度 特別展

展覧会名	期 間	入館者数 (人)
高畑勲展	8/1～9/8・9/21～27	22,591
THE備前	10/10 ～ 11/8	10,718
ミレーから印象派 (中止)	中止	—
第71岡山県美術展覧会 (中止)	中止	—
第67回日本伝統工芸展岡山展	11/13 ～ 11/29	3,705
マイセン動物園展	12/5 ～ 1/31	
雪舟と玉堂二人の里帰り	2/10 ～ 3/14	
計		37,014

令和2年度 岡山の美術 (常設展)

年 月	入館者数 (人)
令和2年 4月	209
5月	410
6月	685
7月	872
8月	2,340
9月	983
10月	3,273
11月	3,178
12月	985
計	12,935

<参考>令和3年度 特別展

展覧会名 (仮称)	期 間
せなけいこ展	4/2 ～ 5/9
今西コレクション肉筆浮世絵	5/21 ～ 7/4
東京富士美術館コレクション	7/9 ～ 8/29
第72岡山県美術展覧会	9/8 ～ 9/19
星野道夫展	9/28 ～ 11/7
第68回日本伝統工芸展岡山展	11/18 ～ 12/5
伊豆市の近代日本画	1/4 ～ 2/20

2 県立美術館魅力UP事業

県立美術館が県民や観光客にとって、気軽に行ってみたい場所となり、入館者の増加にもつながるよう、積極的な情報提供・広報や、きめ細かいサービスの提供を行うとともに、若い世代やこれまで足を運んだことがない方々にも来館を促す取組にも努めた。

○ 「岡山の美術」（常設展）魅力強化事業

- ・所蔵作品に加え、借用作品を展示し、充実した内容で集客アップを図った。
特別企画「赤松麟作展」9/26～11/3 入館者数：4,329人
特別企画「もっと伝工」11/8～12/20 入館者数：3,642人
※ 特別企画「草間喆雄展」7/21～9/20 は令和3年度に延期
- ・東京オリンピック・パラリンピック協力事業として、「桃太郎」をテーマに「令和おとぎ草子 桃太郎 KAMI SHI by 松井えり菜」の展示を実施した。
※ 4/10～5/24の会期を4/10～7/12まで延長 入館者数：1,906人
- ・新たな試みとして、展示内容にマッチする音楽や朗読、舞踏などのパフォーマンスとのコラボレーション「響き合う表現～Drawing Melodies～」を開催し、相乗効果的な魅力アップを図った。

○ 美術館魅力発信事業

魅力発信スタッフにより、SNSを活用したタイムリーな情報発信に努めるとともに、メディアや地元観光雑誌等への情報提供も適宜行っている。

○ 美術館利便性向上事業

新型コロナウイルスの感染拡大状況に鑑み、託児サービス、手話つきフロアレクチャー等は見合わせている。

○ 外国語表記の強化事業

展示作品のキャプション等での外国語表記も適宜導入している。



○ ボランティア活動

県民から親しまれる美術館をめざし、県民と美術館との橋渡しの役割と、美術館活動の円滑な運営をサポートしていただくため、開館当時からボランティア制度を導入しており、現在約100名のボランティアが活動している。

主な活動としては、来館者に対する館内の案内、誘導や、展覧会の案内状の発送作業に携わっていただいている。

○ 刊行物の発行

美術館の活動や、展覧会のスケジュールをPRするため、以下の刊行物を発行した。

- ・岡山県立美術館年報
- ・美術館ニュース（年4回）
- ・展覧会案内リーフレット
- ・岡山県立美術館紀要
- ・展覧会図録 等

3 教育普及事業

次の世代のミュージアムファンの確保も視野に入れて、若い世代の人たちに「美術館とのよき出会い」や「生涯を通じ芸術に触れるきっかけ」を積極的に提供することで、美術館を身近に感じ、生涯にわたって美術館に足を運ぶ環境づくりを目指した。

○ 学校と美術館との連携

学校の教育活動(図画工作、美術、総合的な学習、校外実習、職場体験等)や教職員の研修の場として美術館を活用していただくとともに、出前事業・研修などのアウトリーチにも積極的に取り組んでいる。

- ・学校と美術館の連携委員会による事業検討の継続
- ・美術館学習をサポートする教員等の人材育成
- ・美術館教育素材の検証・開発・実践
- ・みんなの参観日「図工の時間・美術の時間ー子どもの学びー」

図工や美術の時間の中で大切にされている「子どもの思いや主題」「先生の支援」「子どもどうしの関わり」を切り口とした“子どもの学び”を美術館で展示し、多くの人々に観ていただくべく、前期(12月)と後期(1月)の2回に分けて開催。



○ ワークショップの開催

児童・生徒を対象に月1～2回程度開催している「きつず&じゅにあ・ミュージアム・Lab」をはじめ、美術館に親しみ、作品や美術に対する理解が深まるような、制作に関わる活動や体験的な作品鑑賞などの参加体験型のプログラムを、様々なテーマで実施した。

○ キャンパスメンバーズ制度

大学生等に気軽に美術館へ足を運んでもらえるよう、大学や短期大学、専修学校等に所定の会費を負担していただき、メンバーになった学校（現在32）に在籍している学生は展覧会（特別展を除く。）を無料で鑑賞できる「岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度」に、平成27年1月から参加している。

〔令和2年度 キャンパスメンバーズ学生等来館実績 260人〕

4 その他

○ 岡山県新進美術家育成「I氏賞」事業（事務局：県立美術館）

岡山県にゆかりのある若手芸術家を支援する「I氏賞」を選考し、贈呈する事業を平成19年度から実施している。（大賞1名、奨励賞2名以内）

その1次選考を通過した作品を展示する選考作品展を実施する。

また、これまでに「I氏賞」を受賞した作家の受賞作家展を開催した。

- ・第十回I氏賞受賞作家展（令和2年11月8日～12月20日）

小林正秀氏、中原幸治氏、金考妍氏、吉行鮎子氏

○ 岡山県博物館協議会（加盟85施設、事務局：県立美術館）

平成3年に県内の博物館・美術館相互の発展を目的に結成
県内会員85施設で組織

- ・総会開催（記念講演会等）

令和2年7月8日「私と美術館・学校と博物館」

- ・研修会

令和2年11月17日「伝えたいニュース・記事になる話題」

令和3年2月末 実施予定

- ・リーフレット「おかやま博物館なび」加盟団体へ配布

- ・会報「岡山の博物館」

令和2年12月（57号）発行

令和3年 3月（58号）発行予定

○ 岡山カルチャーゾーン連絡協議会（加盟13施設、事務局：県立博物館）

岡山市中心部の「岡山カルチャーゾーン」の文化施設が連携を図り、リーフレットの作成・配布等の広報活動を行った。

○ 「おとなり美術館」事業

県立美術館と市立オリエント美術館が連携し、定期的に展覧会情報等の交換を行いながら、相互の情報発信と利用促進を目指し、以下の事業を実施した。（平成27年度から）

- ・所蔵品を1点ずつ交換して紹介する「サテライト展示」を実施
- ・ポスターやチラシ等で相互の展覧会をPRするコーナーの設置
- ・入館チケットの半券を相手館に提示すると相互に団体割引料金を適用

- ・美術館ボランティアの相互勉強会の開催 等
- ※例年実施していた団体割引等はオリエント美術館が休館中（10/1 から一年間）のため10月から休止。



5 特記事項

○ 新型コロナウイルスの影響

本年度は上述したとおり特別展や岡山の美術（常設展）の延期や中止が相次いだ。また、4月下旬から5月上旬にかけての緊急事態宣言の期間中は、閉館を余儀なくされた。

その後も、第二・第三の感染拡大が特別展の開催時期と重なっていることもあり、入館者数の大幅な減少に苛まれている。

○ 新型コロナウイルス感染防止対策

来館者の皆様に、安心してご鑑賞していただけるよう、(公財)日本博物館協会のガイドライン等に則しながら、非接触式体温計の導入や展示室等での密の発生しない間隔の確保をはじめ、手指消毒器やアクリルボードの設置、接触確認アプリの導入や来館者名簿の作成等など、感染防止対策に万全を期すよう努めている。

【スタッフ対策】

入館時に手指消毒及び非接触式体温計による検温を実施。その後、朝礼時に体調を確認している

展示室では、マスク、フェイスシールド、白手袋を着用し、“もぎり”やチケット売り場等にはアクリルボードを設置し、金銭等はトレーでやりとりするなど、ソーシャルディスタンスをしっかりと確保した接客に留意するとともに、体調が悪そうなお客様を見かけた場合は積極的な声かけを行っている。

【施設内の対策】

玄関に手指消毒器、非接触式体温計の設置。受付窓口等にアクリルボードの設置、「もしサポ岡山」の案内ボード設置。常時、空調機による外気の機械式換気、接触感染の可能性のある部分（手すり、ドアノブ等）及び飛沫感染の可能性のある部分（アクリルボード等）の定期的かつ頻繁な消毒を実施。ソーシャルディスタ

タンス確保のため、床面に足形プリントシールを貼り、観覧動線を一方通行とした上で、混雑が予想されるエリアではベルトパーティションによる整列・分離を行っている。

なお、多数の来館者予想される特別展では、日時予約システムも導入して入場者数をコントロールした。

【来館者へのお願い】

上記の内容をHPや館内案内で掲示している。

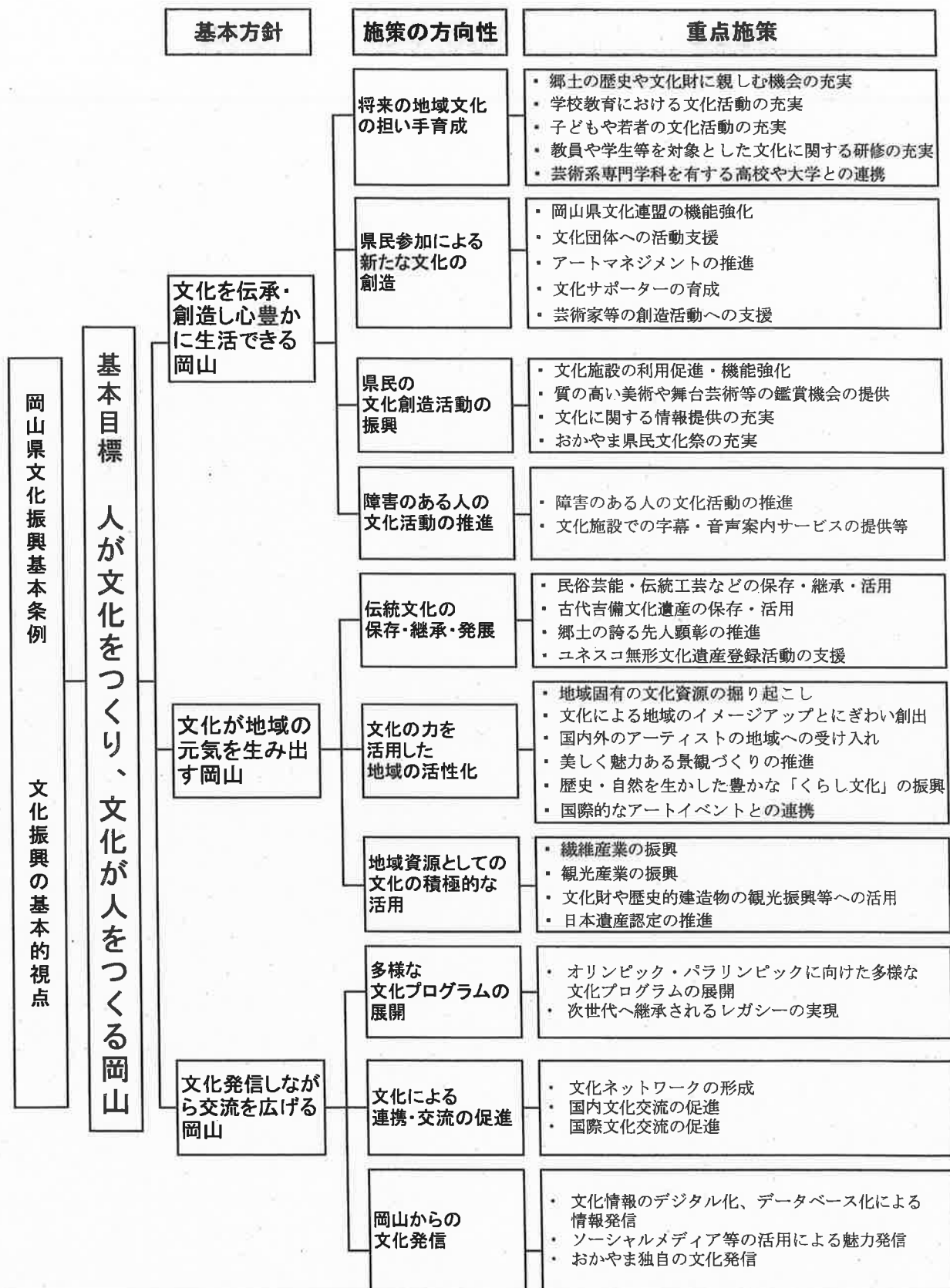
【その他】

陽性者または濃厚接触者の発生時に保健所等による追跡調査ができるよう、日時予約システムや入館者カードへの記入により、個人情報の把握するようにしている。

新型コロナウイルス感染症関連対策事業

事業趣旨	<p>施設の休館などにより、活動の自粛を余儀なくされた文化団体を支えるため、本県独自の活動支援や施設への感染防止対策支援などを行い、本県の文化の活力が維持できるよう、県民が文化・芸術を体験し鑑賞する機会の確保を図る。</p>
事業概要	<p>【令和2年6月補正】</p> <p>1 みんなの文化活動応援事業（おかやま文化・メガ・アクション事業） 発表の機会を失った県内の文化芸術活動を行う団体（文化団体等）の発表の機会を支援するため、会場借上げや作品搬入、WEB配信等に要する経費を助成した。 ・1次募集(令和2年7月9日～8月31日) 申請件数 89件 ・2次募集(令和2年11月4日～11月30日) 申請件数 12件 計 101件(14,519千円)</p> <p>2 NEXTコロナ対策文化施設支援事業 感染拡大防止対策等を行う文化施設の所有者や管理者を対象に、感染拡大防止のための環境整備に係る経費を助成した。 ・1次募集(令和2年7月3日～7月31日) 申請件数 22件 ・2次募集(令和2年9月10日～10月31日) 申請件数 7件 計 29件(11,986千円)</p> <p>3 コロナに負けるな！美術館応援プロジェクト事業 公的支援の少ない私立美術館の企画展・特別展等に係る経費を助成した。 県内にある博物館法に基づく登録を行っている12の私立博物館に対して、補助対象経費の1/2を助成（年間利用者数に合わせて施設ごとに上限額を設定） ・募集(令和2年7月9日～12月11日) 申請件数 5件(12,760千円)</p> <p>4 文化施設を活用した地域ブランディング事業 地域が誇る偉人（犬養木堂）を活用した地域ブランディングを進めるため、映像コンテンツ等を作成し、近隣で楽しめる観光地として魅力をPRした。 【具体的内容】 ・地域の観光資源として脚光を浴び、立ち寄ってもらえるように看板を設置 ・インターネット配信による集客と来館時等に効率よく犬養木堂や記念館について理解を深めてもらうための映像コンテンツ(3本)を制作</p> <p>5 県立美術館展覧会鑑賞予約システム構築事業 県立美術館において、「3密」が回避されるよう、日時予約システムを導入した。 【日時予約制対応特別展】 ・高畑勲展－日本のアニメーションに残したもの(令和2年8月1日～9月27日) ・The備前－土と炎から生まれる造形美 (令和2年10月10日～11月8日) ・第67回日本伝統工芸展 岡山展 (令和2年11月13日～11月29日) ・マイセン動物園展 (令和2年12月5日～令和3年1月31日)</p> <p>【令和2年7月補正】</p> <p>6 オーケストラによる地域活性化応援事業 新型コロナウイルス感染症の収束後の本県における文化の灯を消さないため、プロのオーケストラによる音楽鑑賞の機会を提供し、県民に音楽を通して明るい希望をもたらし、コロナによる閉塞感を打破することで文化振興を通じた地域の活性化を図る。 【～岡山県と岡フィルから音楽の贈りもの～ 岡山フィルハーモニック管弦楽団 矢掛特別公演 日時：令和3年2月7日(日) 場所：やかげ文化センター</p>

おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系図



- おかやま文化振興ビジョンとは・・・
- 岡山県文化振興基本条例に基づく、文化振興に関する基本計画として平成30年に策定
 - 取組期間は10年間(平成30(2018)年度～令和9(2027)年度)
 - 令和4年(2022)度に中間見直しを行う予定

おokayama文化振興ビジョン(2018-2027)における成果指標の実績

1 文化を伝承・創造し心豊かに生活できる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
文化施設利用者数	483,612人	530,000人	468,770人	131,251人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				

(1) 将来の地域文化の担い手育成

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
おokayamaの文化財キッズ ページ年間アクセス数	854件 (2016年度)	1,800件 (2020年度)	3,380件	4,331件
(説明)おokayamaの文化財キッズページ年間アクセス数				
学校行事で県立美術館を 訪れた人数	3,661人	4,800人	1,910人	1,941人
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数				
子どもみらい塾講師派遣 回数	406回	530回	333回	242回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数				
優れた芸術を鑑賞した学 校数	668校	1,300校	1,085校	1,175校
(説明)県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数				
アウトリーチ活動実施回数	39回	43回	17回	6回
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数				

(2) 県民参加による新たな文化の創造

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数	—	400件	273件	379件
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数の累積数				
文化関係各種助成金の採択件数	31件	40件	26件	21件
(説明)日本芸術文化振興会、地域創造、エネルギー文化・スポーツ財団等の団体が募集した助成金事業に採択された件数				
県が実施するアートマネジメント講座修了者数	69人	200人	115人	115人
(説明)県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				
県立美術館ボランティア数	89人	100人	98人	103人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数				
岡山県美術展覧会への応募点数	3,296点	3,300点	2,600点	0点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻)の点数				

(3) 県民の文化創造活動の振興

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
文化施設利用者数	483,612人	506,000人	468,770人	131,251人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				
「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	30.2% (2016年度)	38.0% (2020年度)	40.4% (2019年度)	28.0% (2020年度)
(説明)県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合				
「岡山文化情報」ホームページアクセス数	25,697件	34,000件	39,632件	30,375件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県民文化祭参加者数	370,978人	408,000人	205,182人	81,577人
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数				

(4)障害のある人の文化活動の推進

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
障害のある人のアート展への応募点数	—	250点	205点	298点
(説明)岡山県主催の障害者アート展への応募点数				
beyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数	—	1,100件 (2020年度)	620件	745件
(説明)岡山県が認定するbeyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数の累積数				

2 文化が地域の元気を生み出す岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
地域の特色や魅力を生かす取組を展開できるアートマネジメント人材の育成数	69人	500人	301人	370人
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツが実施するアートマネジメント研修受講者数と県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				

(1)伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
日本伝統工芸展への応募点数	116点	120点	64点	51点
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数				
登録文化財の登録件数	275件	310件	334件	342件
(説明)登録文化財の登録件数				
犬養木堂記念館及び岡崎嘉平太記念館利用者数	25,772人	29,000人	25,878人	15,779人
(説明)犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館の利用者数				

(2)文化の力を活用した地域の活性化

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	—	2,000件 (2020年度)	981件	1,145件
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				
県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	118団体	130団体	211団体	208団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加アーティスト数	20人	25人	19人	4人
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加アーティスト数 新型コロナウイルス感染症の影響により、国内外からのアーティストの招へいは困難な状況であるため、参加アーティスト数は減少している。				
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	8団体	10団体	9団体	9団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数				
外国人旅行者宿泊者数	133,082人	300,000人 (2020年度)	313,673人	3,577人
(説明)県が調査している外国人旅行者宿泊者数				

(3)地域資源としての文化の積極的な活用

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
観光入込客数	1,433万人	1,500万人 (2020年)	1,692万人 (R1暦年)	7月に公表予定 (R2暦年)
(説明)観光庁「観光入込客統計」(暦年調査)による観光入込客数				
後楽園の入園者数	744,039人	900,000人 (2020年度)	832,677人	279,502人
(説明)後楽園の入園者数				

3 文化発信しながら交流を広げる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
文化施設ホームページアクセス件数	360,035件 (2016年度)	432,000件	1,006,937件	704,024件
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館のホームページアクセス件数				

(1) 多様な文化プログラムの展開

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数【再掲】	—	2,000件 (2020年度)	981件	1,145件
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				

(2) 文化による連携・交流の促進

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
文化に関わる人々のネットワークづくりのためのワークショップ等受講者数	—	1,500人	818人	885人
(説明)おかやま文化芸術アンソニエイツが実施する文化に関わる人々のネットワークづくりのためのレクチャー・ワークショップ受講者数の累積数				
国民文化祭への派遣団体数	8団体	10団体	4団体	0団体
(説明)国民文化祭への派遣団体数 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の国民文化祭は、2021年に延期となった。				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加外国人アーティスト数	5人	7人	3人	0人
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加外国人アーティスト数 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度は、外国人のアーティストの招へいは困難なため、行っていない。				

(3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	R1年度 (2019)	直近の実績値 (R2.12末)
「岡山文化情報」ホームページアクセス数【再掲】	25,697件	34,000件	39,632件	30,375件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県立美術館フェイスブック“いいね”の数	—	1,900件	1,809件	1,837件
(説明)県立美術館フェイスブック“いいね”の数の累積数				

※累積数を指標としている場合、現況値はH28(2016)年度現在の累積数を記載している。

重点事業調書

担当部局・課名		環境文化部文化振興課					
重点事業の名称		文化を核とした地域活性化促進事業					
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心して豊かさが実感できる地域の創造					
	戦略の旨	8 生きがい・元気づくり支援プログラム					
	施策	1 重点 文化とスポーツの力を活用した地域の活性化、6 推進 文化創造活動の振興					
第2期 創生 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する					
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持					
	課題	4-② 地域社会の活性化					
終期設定(年度)	R3	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費		
現状課題 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で文化に触れる機会が減少したことにより、楽しく心豊かに生活するための文化の役割が再認識された。 ・コロナ禍で活動の自粛を余儀なくされた文化団体等の活動の活性化を図り、県民が文化・芸術を体験し、鑑賞する機会の確保につなげる必要がある。 ・地域固有の文化資源を生かした活動や新たな創造活動の活性化を図り、将来の地域文化の担い手等を育成する必要がある。 						
事業内容	<p>1 新規おかやま文化芸術コネクト事業 《6,271千円》 県内の芸術家たちが、コロナ禍においても活動を断念することなく、芸術家自身が地域の貴重な文化資源として認知され、活動の場を得ることができるよう、文化連盟（おかやま文化芸術アソシエイツ）とタイアップし、文化連盟のマネジメント機能を強化・活用して、継続的サポート体制の構築を行う。</p> <p>2 アートプロジェクトおかやま推進事業 《22,362千円》</p> <p>(1) 拡充おかやまAIR地域協働事業 《4,000千円》 国内外の芸術家を招へいし、滞在制作を行うAIR（Artist In Residence）に、地域との協働による取組も併せて行うことで、地域にアートを取り入れ、多様な視点から岡山ならではの文化活動や創造活動などを促進する。</p> <p>(2) 拡充次世代おかやまアーティスト活動促進事業 《3,000千円》 県文化の底上げを図るため、本県ゆかりの若手芸術家を起用した企画展や舞台などを実施し、若手芸術家の活動の機会を創出するとともに、ワークショップ等を実施し、県民が文化に触れ、活動できる場を提供する。</p> <p>(3) 拡充文化芸術オーガナイザー育成・支援事業 《6,216千円》 県民が自ら主催者となり、地域資源を生かしたアートイベントを企画し、県内各地で継続的に行えるよう、岡山の文化芸術と地域資源を生かしたイベントの企画・実践ができる人材を育成するとともに、自主企画事業等を支援する。</p> <p>(4) 拡充身近にオーケストラ！鑑賞事業 《9,146千円》 音楽の楽しみを通じて、コロナ禍にあっても明るい希望をもたらす地域の活性化につなげるため、オーケストラの演奏を聴く機会が少ない地域で岡山フィルハーモニック管弦楽団による公演を実施する。</p>						
事業の意図効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・県内に活動拠点を置く芸術家を可視化するプラットフォームを構築し、芸術家の活動を支援するとともに、県民が身近に文化・芸術に接するきっかけを提供する。 ・地域に密着した作品創造や人材育成を行うことで、継続的な文化・芸術活動の活性化を図るとともに、将来の地域文化の担い手や若手芸術家を支援することで、本県文化の底上げを図る。 ・コロナ禍にあっても、広く県民が文化に親しみ実践することができる環境づくりを進め、地域の一体感や活力醸成につなげ、豊かで潤いのある暮らしや活力ある地域を創造する。 						
事業目標	事業	生き生き指標、重要業績評価指標(KPI)等			現状値	目標値	差
	1・2	12回 おかやま県民文化祭の主催・参加プログラムの件数			176件 (R1)	190件 (R6)	14件
1	おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数(累計)			122件 (R1)	640件 (R6)	518件	
事業費の見積もり	区分	R2予算額	R3予算要求額	R4見込額	R5見込額	R6以降見込額	
	事業費(単位:千円)	35,457	28,633				
	財源内訳	国庫		19,487			
		起債					
		その他特定財源					
一般財源		35,457	9,146				

Withコロナ時代の文化活動の支援

<現状>

- 県文化連盟「おかやま文化芸術アソシエイツ」
ワンストップ相談窓口を設置
コロナ禍での文化団体等への活動状況調査を実施
- 県の支援施策:「NEXTコロナ対策文化施設支援事業」
「みんなの文化活動応援事業(おかやま文化・メガアクション事業)など

これまで

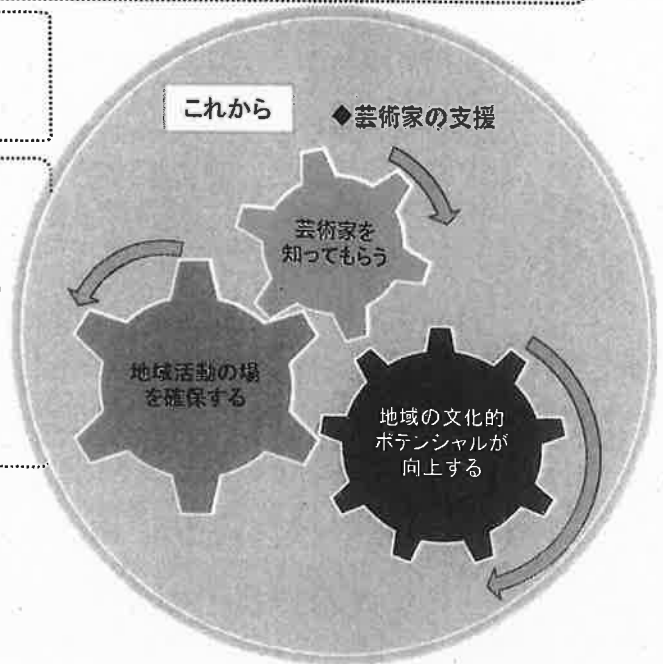
- ◆文化施設の支援
- ◆文化団体の支援

<課題>

一人ひとりの芸術家を対象とした、きめ細かな継続的な支援

<今後の方向性・必要性>

県内を主な活動拠点としている一人ひとりの芸術家が、コロナ禍にあっても活動を断念することなく、地域の貴重な文化資源として認知され、活動の場を得ることができるよう、「おかやま文化芸術アソシエイツ」のマネジメント機能を強化し、継続的サポート体制を構築する必要がある。



県内の芸術家と
県民・地域などを結び付ける

芸術家の活動活性化の支援につながる プラットフォームの形成

芸術家を知ってもらう

- ◆岡山を拠点として活動する芸術家を可視化できるアーティストバンクを設置する。
- ◆芸術家のデータを収集し、その作品・活動を文化資源として紹介する。
 - 検索機能:分野別、50音別、地域別等機能を設ける。
作品写真・音源など活動が把握できる工夫をする。
 - 展 開:登録アーティストは約100名からスタートし、最終的に400名程度まで広げる。
作品の販売支援、企業CSRの取組やアーティスト支援情報の提供を目指す。

☆活用事例☆

- ・学校の部活動等の講師探し
- ・子ども向けワークショップ
- ・結婚式や記念式典等で華を添える演奏・舞踊
- ・オフィスに飾る絵画の購入
- ・社会福祉施設でのイベントなど

活動の場の確保を確保する

- ◆アソシエイツのコーディネートにより、イベント等のニーズに応じた芸術家の紹介や出演交渉等サポートを実施するとともに、契約書作成などのマネジメントサポートも行う。
- ◆バンクに登録する芸術家を活用したモデル事業を実施し、県民に体験と鑑賞の機会を提供する。

新型コロナウイルスの影響で低迷した
文化活動の活性化
(文化芸術の体験・鑑賞機会の確保)

豊かで潤いのある暮らしや活力ある地域の創造

岡山県天神山文化プラザの指定管理者の指定について

次のとおり、指定管理者を指定するものとする。

- 1 管理を行わせる施設 岡山市北区天神町8番54号
岡山県天神山文化プラザ
- 2 指定管理者となる団体 岡山市北区天神町8番54号
公益社団法人岡山県文化連盟
会長 若林昭吾
- 3 指定の期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

(参考)

公益社団法人岡山県文化連盟の概要

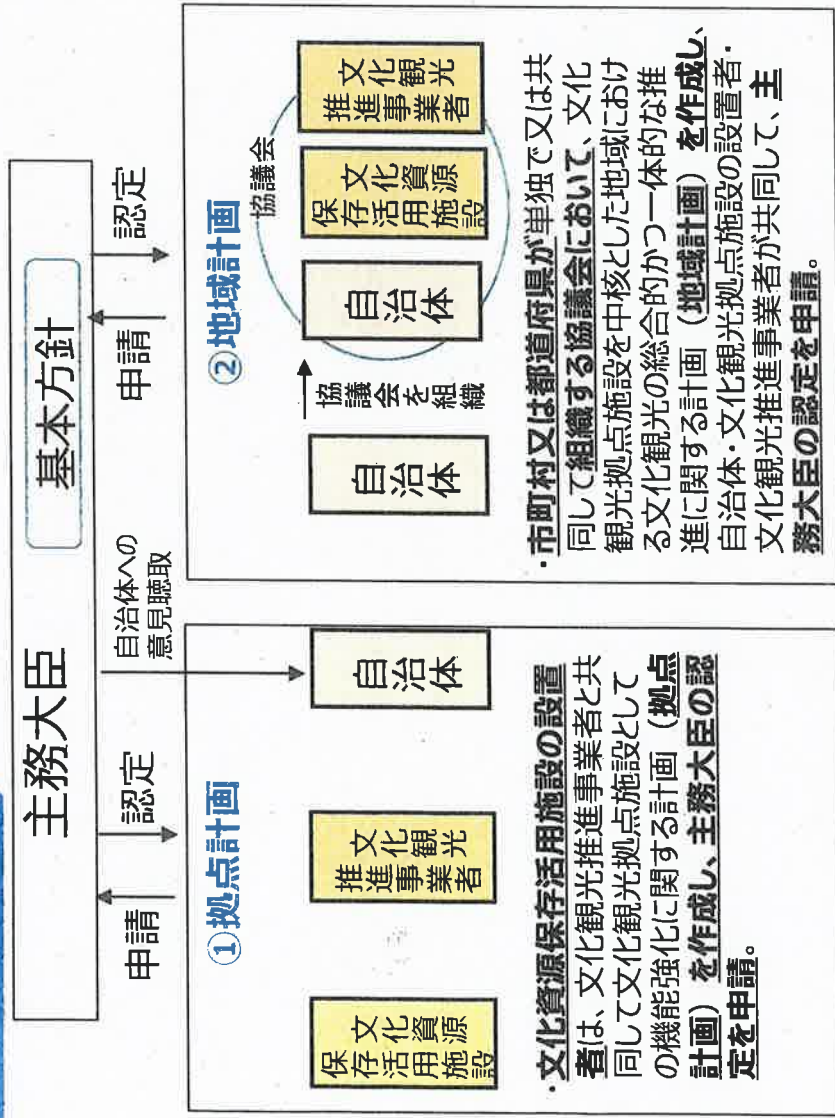
- (1) 設 立 平成19年6月18日
- (2) 役員数 9名(理事7名、監事2名)
- (3) 会員数 116団体
- (4) 目 的 岡山県における芸術・文化関係の団体の相互連携と自主的活動の充実促進を図り、
芸術・文化の普及振興に寄与する。
- (5) 事業内容 ① 芸術・文化の普及振興
② 各種芸術・文化事業の実施
③ 芸術・文化関係の団体との連携及びその育成
④ 芸術・文化に関する個人又は団体の顕彰
⑤ 芸術・文化施設等の管理運営
⑥ その他この法人の目的を達成するために必要な事業

文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律の概要

趣旨

文化・観光の振興、地域の活性化には、文化についての理解を深める機会の拡大及びこれによる国内外からの観光旅客の来訪促進が重要。東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることを契機に、文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光を推進するため、主務大臣（文部科学大臣・国土交通大臣）による**基本方針**の策定、**拠点計画**・**地域計画**の認定、これらの計画に基づく事業に対する**特別の措置**等を講ずる。

法案のスキーム



認定による国等の支援

法律上の特別措置

- ・ 共通乗車船券、道路運送法、海上運送法に関する特別措置
- ・ 文化財の登録の提案に関する特別措置
- ・ 国・地方公共団体・国立博物館等による助言、
- ・ (独) 国際観光振興機構 (JNTO) による海外宣伝
- ・ 国等所有の文化資源の文化観光拠点施設での公開への協力等

予算上の措置

- **博物館等を中核とした文化クラスター推進事業**
 - ・ 令和2年度予算額：1,490百万円（新規）
 - ・ 積算件数：25件（1件5千万円）
 - ・ 補助率：予算の範囲内で補助対象経費の2/3
 - ・ 国の認定を受けた事業に係る地方負担分は特別交付税措置

(各計画において行われる事業のイメージ)

① 文化資源の魅力増進

- ・ 地域の文化資源の調査研究 ・ 資料・コレクションのデータベース化
- ・ 鑑賞しやすい展示改修 ・ 専門人材確保

② 理解を深めるのに資する取組

- ・ 展示品のわかりやすい解説紹介 ・ 多言語アプリ、オーディオガイド
- ・ VR・AR等の体験型コンテンツ ・ ガイドツアー事業 ・ 専門人材確保

③ 利便の増進

- ・ 地域内の周遊バス借上 ・ キャッシュレス、Wi-Fi整備
- ・ バリアフリー整備 (スロープ等) ・ 館内案内の多言語化

④ 物品の販売提供、他施設との連携

⑤ 国内外への宣伝

文化資源保存活用施設：博物館、美術館、社寺、城郭等
 文化観光推進事業者：観光地域づくり法人 (DMO)、観光協会、旅行会社等
 文化観光拠点施設：文化資源保存活用施設が、文化観光推進事業者と連携し、文化についての理解を深めるための解説紹介を行う

※施行期日：公布の日から起算して1月を超えない範囲において政令で定める日

文化観光推進法 認定計画（25計画）

R2年11月時点

認定日	番号	計画の実施地域	計画	主な申請者	文化観光拠点施設
令和2年 8月12日	1	秋田県横手市	地域	横手市	横手市増田まんが美術館
	2	群馬県高崎市	拠点	群馬県	群馬県立歴史博物館
	3	東京都品川区	拠点	(株)寺田倉庫	TERRADA ART MUSEUM(仮称)
	4	山梨県	地域	山梨県	山梨県立美術館、平山郁夫シルクロード美術館、中村キース・ヘリング美術館、青春芸術村
令和2年 11月18日	5	愛知県名古屋	拠点	(公財)徳川黎明会徳川美術館	徳川美術館
	6	福井県福井市	地域	福井県	福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡
	7	奈良県	地域	奈良県	奈良国立博物館、奈良県立美術館、奈良県立民俗博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、奈良県立万葉文化館、なら歴史芸術文化村
	8	大阪府堺市	地域	堺市	堺市博物館、さかい利晶の杜、堺伝統産業会館
	9	岡山県倉敷市	拠点	(公財)大原美術館	大原美術館
	10	熊本県阿蘇市	地域	阿蘇市	阿蘇火山博物館
	11	青森県十和田市	拠点	十和田市	十和田市現代美術館
	12	山形県酒田市	拠点	(公財)本間美術館	本間美術館
	13	福島県会津若松市	拠点	福島県	福島県立博物館
	14	埼玉県所沢市	拠点	(公財)角川文化振興財団	角川武蔵野ミュージアム
	15	神奈川県横浜市	拠点	横浜市	横浜美術館
	16	新潟県十日町市	地域	十日町市	十日町市博物館、越後妻有交流館キナーレ、まつだい雪国農耕文化センター、越後松之山「森の学校」キョロロ、十日町市清津峡溪谷歩道トンネル
	17	石川県七尾市	拠点	七尾市	和倉温泉お祭り会館
	18	長野県御代田町	拠点	(株)アマナ	MMoP 御代田写真美術館(仮称)
	19	静岡県熱海市	拠点	(公財)岡田茂吉美術文化財団	MOA美術館
	20	京都府京都市	拠点	京都市上下水道局	琵琶湖疏水記念館
	21	奈良県明日香村	地域	明日香村	飛鳥宮跡、飛鳥京跡苑池、飛鳥水落遺跡、酒船石遺跡、石舞台古墳、牽牛子塚古墳、中尾山古墳、キトラ古墳、高松塚古墳
22	徳島県	地域	徳島県	徳島県立博物館、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷、阿波おどり会館、藍住町歴史館藍の館、徳島県立大鳴門橋架橋記念館(渦の道)	
23	徳島県美波町	拠点	美波町	日和佐うみがめ博物館カレッタ	
24	福岡県北九州市	地域	北九州市	北九州市立自然史・歴史博物館、北九州市立新科学館(仮称)	
25	長崎県長崎市	拠点	(株)ユニバーサルワーカーズ	軍艦島デジタルミュージアム	

⑨大原美術館を中核とした倉敷美観地区の文化・観光推進拠点計画

計画作成・実施体制

文化観光拠点施設（設置者）：
大原美術館（（公財）大原美術館）
文化観光推進事業者：
（公社）倉敷観光コンベンションビューロー、倉敷商工会議所、
語らい座 大原本邸

計画期間

2020年度～2024年度（5年間）

目標

- 外国人来訪者満足度
2019年 85% → 2024年 95%（+10%）
※6段階の満足度のうち、レベル4以上の回答割合。
- 外国人来訪者数
2019年 13,000人 → 2024年 15,000千人（約1.15倍）
※10年後（2029年）には25,000千人（約2.2倍）
- 観光型宿泊施設宿泊者からの入館者割合
2019年 5.1% → 2024年 8%（+2.9%）
- 飲食店、土産物店等との連携店数
2019年 40店 → 2024年 100店（約2.5倍）

文化観光拠点施設機能強化事業

- <1.文化資源の魅力の増進>
・海外富裕層向け特別ツアーの実施のための通訳ガイド養成
- <2.文化についての理解促進>
・「美術講座」「ギャラリーツアー」といった鑑賞支援プログラムの対象を外国人にも拡大。
- <3.文化観光に関する利便の増進>
・館内のWi-Fi整備やバリアフリー化等受入環境の整備
- <4.飲食、販売、宿泊等との連携の促進>
・観光施設、宿泊施設、旅行者等と連携し、美術館と周辺の歴史的建造物とを組み合わせたツアー等の商品造成
- <5.国内外への宣伝>
・宿泊施設や観光施設と連携し大都市圏での商談会等に参加
- <6.施設又は設備の整備>
・旧銀行の建物を美術館の新館として改修

文化のスタター推進事業費（令和2年度・要望ベース）

1,000万円

計画区域

